

## 令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校 

学校番号	101
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身に付け、社会に貢献する児童生徒を育成する。	
評価する領域・分野	ふれあい支援部「保護者、地域との連携」「教育環境整備」	
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校は授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。」あてはまる、ややあてはまるが88%と高い数値である。PTA活動は授業参観等や学校行事と連携して行っており、保護者の参加率も高い傾向にある。ここ数年PTA会員数が減少しており、組織の統合や行事の精選を行って保護者同士が協力し合ってPTA活動ができるように支援していきたいと考える。</li> </ul>	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の学習環境の充実と生活向上のために、保護者並びに外部関係団体と連携して活動を推進する。</li> <li>・保護者同士が協力し合ってPTA活動ができるように支援する。</li> </ul>	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職とふれあい支援部、PTA役員の協力体制によりPTA活動を運営する。</li> </ul>	
目標の達成に必要な具体的取組	<p>&lt;保護者・地域との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会・実行委員会を実施し、組織の円滑な運営を目指す。</li> <li>・行事・広報・研修の3委員会を中心として主なPTA行事を実施する。</li> <li>・年間を通じて行事毎にアンケートを実施し、次の活動に生かす。</li> <li>・学校・MSリーダーズと合同で点字ブロック理解推進活動を実施し、視覚障がいについて地域社会への理解啓発を促す。</li> </ul> <p>&lt;教育環境の整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イエローレシートキャンペーンへの参加を通して学校用品を購入し、教育活動に役立てる。ベルマーク、インクカートリッジの収集活動を継続する。</li> </ul>	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズを把握し、有意義なPTA活動を実施することができたか。</li> <li>・学校の教育環境が改善されたか。</li> </ul>	
取組状況・実践内容等	<p>&lt;保護者・地域との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会・2回のPTA実行委員会は予定通り実施できた。</li> <li>・行事委員会主催の「おしゃべりサロン」では、家庭でのわが子の様子について交流するなど親睦を深めることができた。</li> <li>・広報委員会では広報「梅ヶ枝」を年2回発行し、児童生徒の学校生活やPTA活動を載せ、校内・県内特別支援学校・中部地区の盲学校に配付することができた。</li> <li>・研修委員会主催の「PTA研修会」「福祉振興大会への参加」は予定通り実施し、有意義な研修となった。</li> <li>・行事毎にふりかえりのアンケートを実施し、次の活動に生かすことができた。</li> <li>・点字ブロック理解推進活動は、3月に実施予定である。</li> </ul> <p>&lt;教育環境の整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」で贈呈されたポイントで学校用品を購入し、教育活動に役立てることができた。ベルマーク、インクカートリッジの収集活動は継続して実施した。</li> </ul>	
評価の視点	評価	
① 保護者のニーズを実現したり、様々な声に耳を傾けたりしていたか。	A (B) C D	
② 様々なPTA活動を実施することができたか。	(A) B C D	
③ 情報提供や教育環境整備ができたか。	A (B) C D	
成果・課題	総合評価	

○今年度は4月の総会で提示した予定通りのPTA行事を実施することができた。 ▲来年度は保護者の数が大幅に減少する為、規約の改正・組織の統合・行事の削減・他分掌との統合を含めて検討する必要がある。		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の負担軽減を図りながら、ニーズに合ったPTA活動の実施を目指す。</li> <li>・継続してPTA組織の統合や行事の精選を図る。</li> </ul>	

**学校関係者評価** (令和7年1月29日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の減少を受けてPTAの活動を軽減していく必要がある。そういった環境の中ではあるが、有意義な活動を見出していく姿勢ももちたい。</li> </ul>
-----------	---